

国史跡中里貝塚 保存活用計画策定委員会 かわら版

第7号(令和元年11月発行)

中里貝塚の保存・活用・整備に向けた具体的な方向性を
話し合う保存活用計画策定委員会の第10回会議を開催しました！

令和元年10月31日に北区飛鳥山博物館にて第10回「中里貝塚保存活用計画策定委員会（以下「委員会」という。）」を開催しました。今回の委員会では、議題1つと報告2つがあり、保存活用計画素案（案）の全体確認と前回委員会からの修正箇所について、検討を行いました。

第10回委員会（令和元年10月31日）

議題

- (1) 国史跡中里貝塚保存活用計画書
全体の確認・検討

報告

- (1) 中里貝塚委員会だより（かわら版）の発行
- (2) ワークショップの報告

主な意見

- ・本計画でいう「にぎわい」とは、観光地化とは区別された形で、中里貝塚を理解し尊重して大切に思う人達の集い生まれる、という意味合いとなる。
- ・史跡のVR体験などは、日々進化しているので情報収集を続けてほしい。

※第1～10回の概要は、北区飛鳥山博物館のホームページにて公開しています。



●本委員会は、傍聴いただけます。くわしくは、事務局（北区飛鳥山博物館）までお問い合わせください。

中里貝塚とは…国内最大規模の貝層を有する、縄文時代の“水産加工場”です。マガキとハマグリの干貝加工に伴い廃棄された貝殻が、最大4.5mの厚さで堆積し、貝類の剥き身処理に関わる遺構なども発見されている貴重な遺跡です。



<保存活用計画とは>

国指定の文化財等について、保存活用の考え方を明確化し、必要な諸手続などを整理して、文化財等の確実な継承を図るために作成する計画です。

お問い合わせ（事務局）

北区飛鳥山博物館

TEL：03-3916-1133

<http://www.city.kita.tokyo.jp/hakubutsukan/>



■本かわら版は、委員会で話し合われた内容等、を昭和町地区自治会連合会管内の皆様にお知らせするため発行するものです。